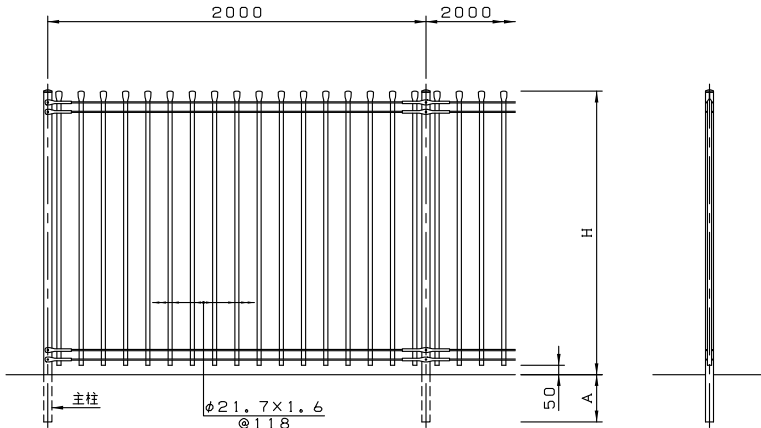


**施工前に必ずお読みください。**

## 組立図

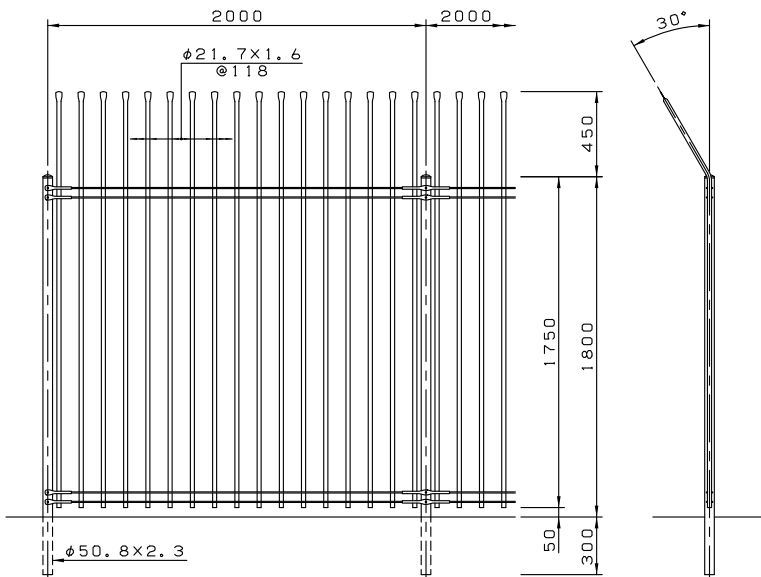
### PW-A型



PW-A型寸法表

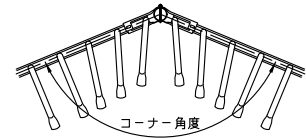
呼称	高さ(H) mm	主柱規格	埋込み(A) mm
PW-A600	600	φ42.7×2.3	150
PW-A900	900	φ42.7×2.3	150
PW-A1000	1000	φ42.7×2.3	150
PW-A1200	1200	φ42.7×2.3	150
PW-A1500	1500	φ42.7×2.3	250
PW-A1800	1800	φ50.8×2.3	300

### PW-A1800 曲忍付

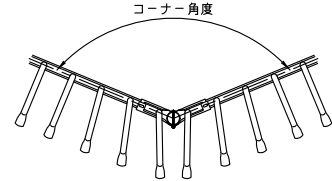


### PW-A1800 曲忍付 コーナー忍び平面図

忍び側コーナーの場合

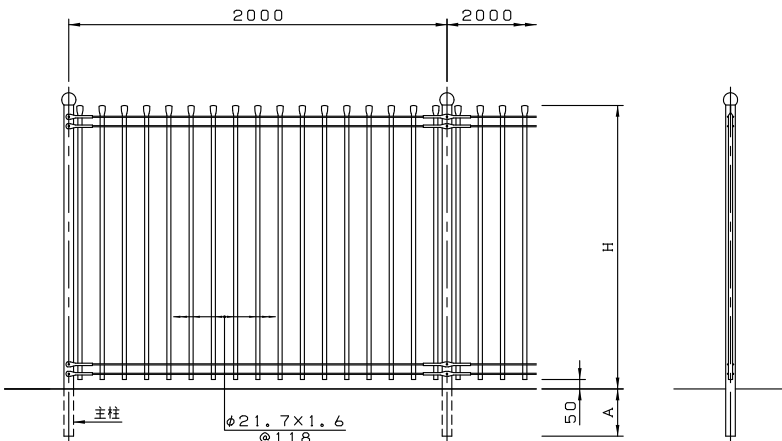


忍びと反対側コーナーの場合



・コーナーのパネルは90度用、135度用を製作しています。それ以外のコーナー角度は標準パネル、90度用パネル、135度用パネルの内、近似角度のパネルを使用し、現地で忍びの向きを調整ください。

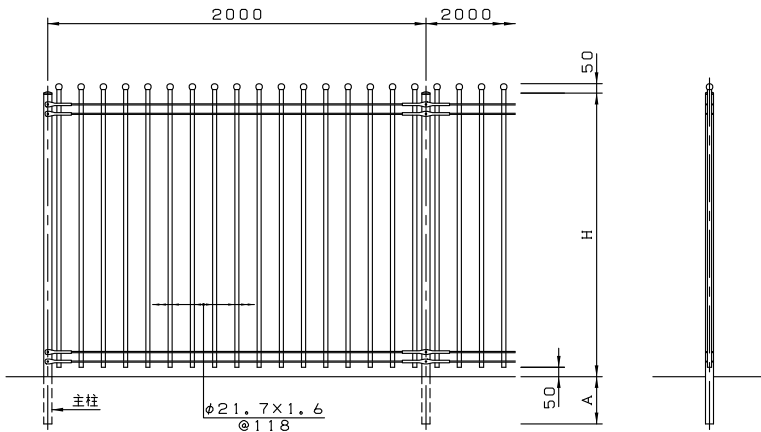
### PW-R型



PW-R型寸法表

呼称	高さ(H) mm	主柱規格	埋込み(A) mm
PW-R600	600	φ50.8×1.6	200
PW-R900	900	φ50.8×1.6	200
PW-R1000	1000	φ50.8×1.6	200
PW-R1200	1200	φ50.8×1.6	200
PW-R1500	1500	φ50.8×2.3	250
PW-R1800	1800	φ50.8×2.3	300

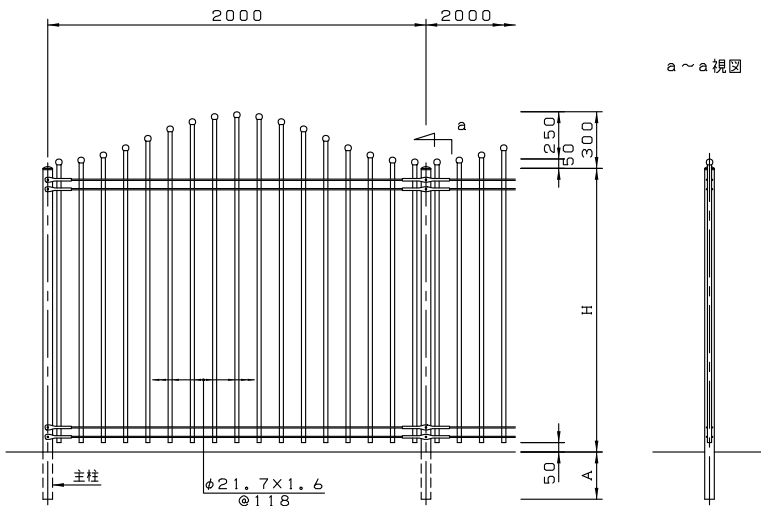
PW-F型



PW-F型寸法表

呼称	高さ(H) mm	主柱規格	埋込み(A) mm
PW-F600	600	φ42.7×2.3	150
PW-F900	900	φ42.7×2.3	150
PW-F1200	1200	φ42.7×2.3	150
PW-F1500	1500	φ42.7×2.3	250
PW-F1800	1800	φ50.8×2.3	300

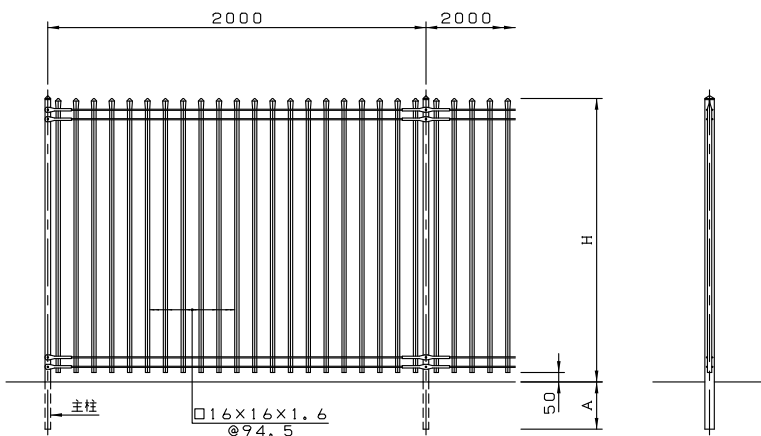
PW-M型



PW-M型寸法表

呼称	高さ(H) mm	主柱規格	埋込み(A) mm
PW-M600	600	φ42.7×2.3	150
PW-M900	900	φ42.7×2.3	150
PW-M1200	1200	φ42.7×2.3	150
PW-M1500	1500	φ50.8×2.3	250

PW-V型



PW-V型寸法表

呼称	高さ(H) mm	主柱規格	埋込み(A) mm
PW-V600	600	□40×25×2.3	150
PW-V900	900	□40×25×2.3	150
PW-V1200	1200	□40×25×2.3	150
PW-V1500	1500	□50×30×2.3	250
PW-V1800	1800	□50×30×2.3	300

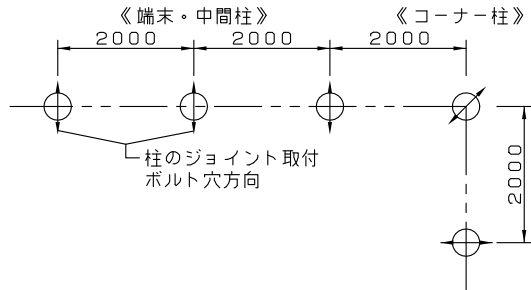
1 基礎・埋込み穴

- ・支柱埋込間隔は、各型式とも芯々2000mm（穴の大きさφ80～φ100）に正確にあけてください。（穴間隔、穴の大きさ、深さ等をチェックしてください。）

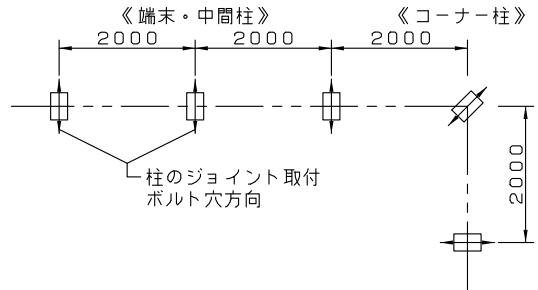
2 柱の建込み

- ・垂直に埋込み穴の中心に建込みます。その際、柱のジョイント取付ボルト穴の方向に注意してください。（下図参照）

■A・R・F・M型



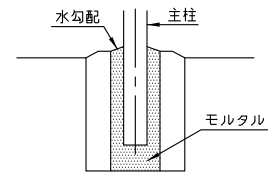
■V型



※端末・中間柱はフェンスの延長方向に対して直角方向  
 ※コーナー柱はコーナー角の二等分方向

3 モルタル詰

- ・水平・通りを正して、モルタル詰めを行い、水勾配をつけてください。  
 ※基礎のスリーブは必ず抜き取り、モルタルを充て込んでください。  
 砂、空ねり等では柱の強度が保てません。



4 端尺スパン加工

- ・端尺スパンに合わせて横線を切断し、切断面には補修塗りを行います。  
 （注）柱と格子間を極端に狭くすると、柱と格子が接触して音鳴りがする場合があります。状況に応じて切断位置を調整してください。

M型の場合

※端尺スパンの処理は、スパン2000mm～1500mmまではパネル両端カット（現地にて横線切断で調整）とします。1500mm未満のスパンは格子頂部フラット（PWF型）のものを使用します。

5 格子パネルの取付

1. パネルを柱の間に配置します。
2. ジョイントを両側より柱とパネルの横線をはさむようにかぶせ、先にパネル側でジョイントどうしをボルトで止めます。
3. パネルとジョイントを柱穴位置まで持ち上げて、柱とジョイントをボルトにて貫通止めを行います。

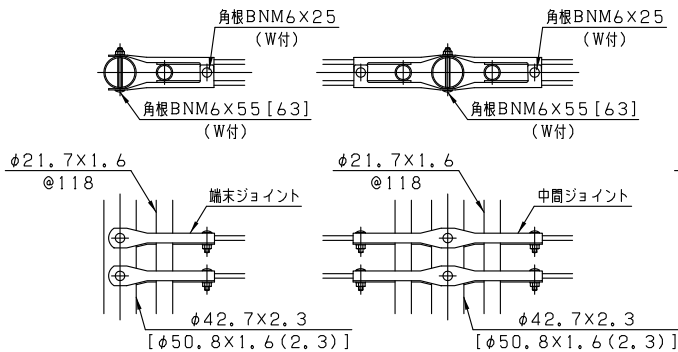
パネル取付上のご注意

柱と格子の隙間は左右均等になるように取付ください。  
 （柱と格子間を極端に狭くすると、柱と格子が接触して音鳴りがする場合があります。）

■A・R・F・M型

< 端末柱 >

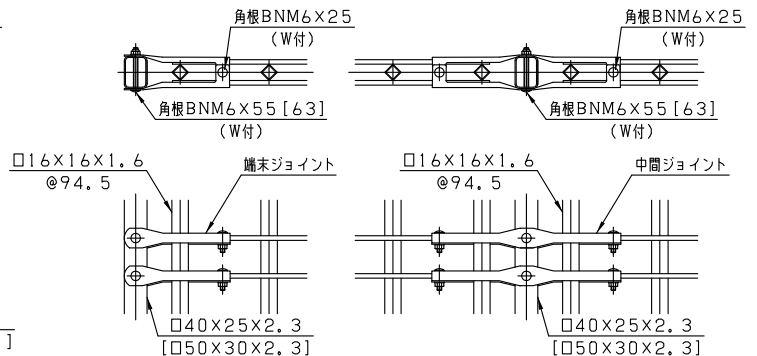
< 中間柱 >



■V型

< 端末柱 >

< 中間柱 >



6 チェック

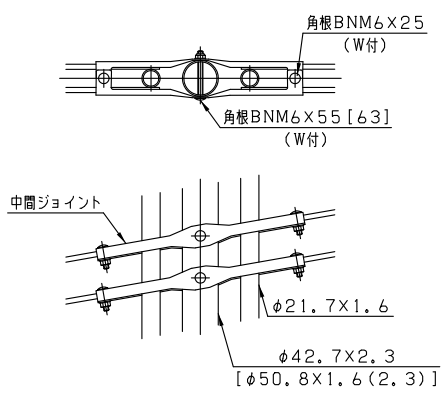
- ・全スパンの組立完了後、前後左右の振れ、水平・通りを正してボルト・ナットの締付を点検し、塗装面のはく離部分があれば補修塗りを行います。

# 勾配・コーナ一部取付要領図

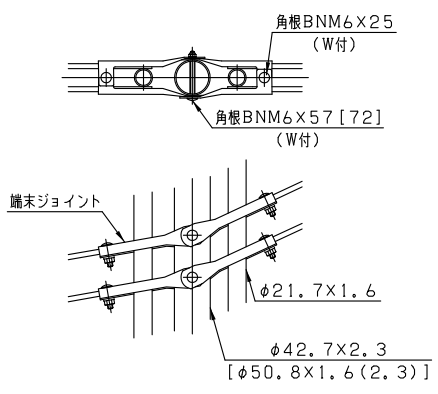
## 勾配部

### ■A・R・F・M型

勾配中間

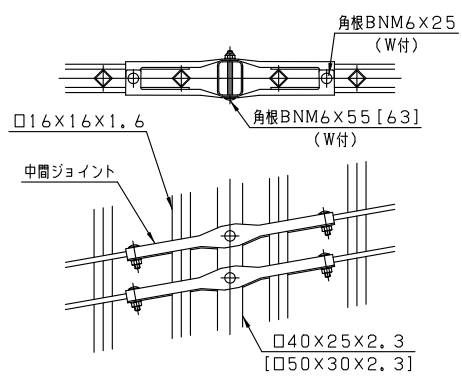


勾配変化点

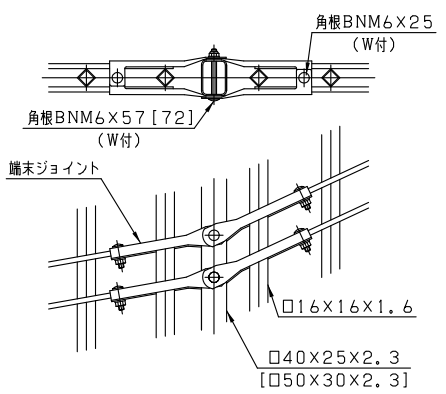


### ■V型

勾配中間



勾配変化点

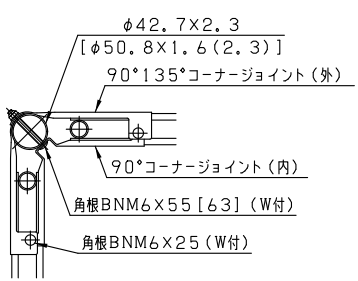


## コーナー部

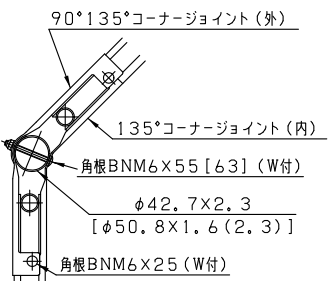
(A・R・F・M型の勾配コーナーはV型と同じ取付要領になります。)

### ■A・R・F・M型 (水平)

90°

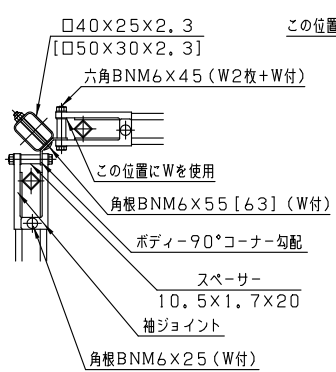


135°

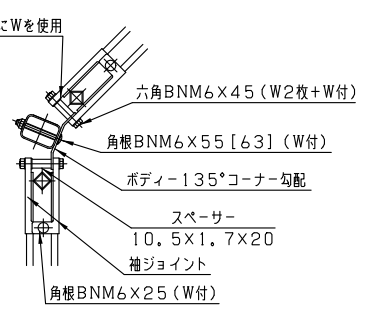


### ■V型 (水平・勾配)

90°



135°



※コーナージョイント (内) やボディー90° (135°) コーナー勾配が標準です。それ以外のコーナー角の場合は、中間ジョイント・コーナージョイント・ボディーコーナー勾配のうち、近似角度のジョイントを柱にセットして両側のパネルを取付して調整すると簡単に曲がります。中間ジョイントは、コーナー角度171°~180°の範囲で使用してください。